

適性試験点数等調書

記入例

受験番号	※ 記入しない
------	---------

① 適性試験の成績

「法科大学院全国統一適性試験」のスコア（総合得点）

192

② 学部の成績

※ 記入しない

③ 顕著な語学資格（1つに限る。）

平成 27 年 5 月	TOEIC 880 点
-------------	-------------

※

④ 資格等〔主要なものを5つ以内（修士以上の学位は記入してください。）〕

平成 10 年 4 月	〇〇国家試験合格
平成 18 年 3 月	〇〇大学大学院〇〇研究科修士課程 修了
年 月	
年 月	
年 月	

※

(300字以内)

A blank sheet of graph paper featuring a uniform grid of small squares. The grid consists of 20 columns and 20 rows. A prominent horizontal line runs across the middle of the page, separating the top half from the bottom half. Additionally, there are two vertical lines near the left edge, creating a margin area on the far left. The entire sheet is white with black grid lines.

❌ 記入しない

これらの書類等が添付されていない場合には、当該記載は評価の対象になりません。

注2：※印欄は記入しないでください。

平成 29 年 ○月 ○日

署名

筑波太郎

「適性試験点数等調書」の記入上の注意

① 適性試験の成績

「法科大学院全国統一適性試験」のスコア（総合得点）を記入してください。
本大学院に出願するためには、今年実施の「法科大学院全国統一適性試験」を受験していなければなりません。
「成績証明カード」は、開封しないまま「適性試験点数等調書」にクリップ止めのうえ、提出してください（「第4部 表現力を測る問題の解答用紙（写）」を添付する必要はありません。）。

② 学部の成績

学部の「成績証明書」又は「学位授与に係る証明書」を提出してください。
（注）学部の成績は記入する必要はありません（記入欄はありません。）。

③ 顕著な語学資格等

例えば、以下のような資格が該当します。なお、出願者が国籍を有する国の言語に係るものは除きます。

TOEFL[TOEFL-ITPを除く]600点(PBT), 100点(iBT)以上 【2年以内に限る】

TOEIC[TOEIC-IPを除く]860点以上 【2年以内に限る】

実用英語技能検定試験 1 級

ケンブリッジ英検CPE

IELTS(International English Language Testing System)7.5以上 【2年以内に限る】

国際連合公用語英語検定試験 A 級又は特 A 級

ドイツ語技能検定試験 1 級

ドイツ語上級統一試験(ZOP)

実用フランス語技能検定試験 1 級

パリ商工会議所TEFレベル 6

スペイン語技能検定 1 級

スペイン語検定試験 DELE(Diplomas de Espanol como Lengua Extranjera)上級

④ 資格等

国家資格・各種試験（特に高く評価される資格としては、例えば、公認会計士、弁理士、司法書士、医師、技術士などが挙げられますが、評価される資格はこれらに限られません。）、学位（修士以上の学位を有する場合には記入してください。なお、学位記のコピー又は修了証明書を添付してください。）、司法試験及び司法試験予備試験の択一試験・論文試験の成績、日弁連法務研究財団及び商事法務研究会が主催した法学検定試験・法学既修者試験の成績等、自らの学修の成果を示すものを、「資格等」として記入することが認められます。

ただし、司法試験及び司法試験予備試験の択一試験・論文試験の成績、日弁連法務研究財団及び商事法務研究会が主催した法学検定試験・法学既修者試験の成績等、法律に関する学修の成果を示すものは、法学既修者コースの入学者選抜においてのみ考慮されます。